

テーマは「宮城県の市町村別農業産出額（推計）」（令和6年） （2025年農林業センサス結果等を活用した市町村別農業産出額の推計結果）



市町村別農業産出額は、登米市が1位、栗原市が2位、大崎市が3位

宮城県における令和6年市町村別農業産出額をみると、登米市が455.0億円で最も多く、次いで栗原市408.3億円、大崎市321.2億円、石巻市169.1億円、仙台市128.9億円の順となり、1位は前年と同様でしたが、2位以降は順位の入替えがありました（図1）。

図1 令和6年市町村別農業産出額の順位及び部門別農業産出額（宮城県）

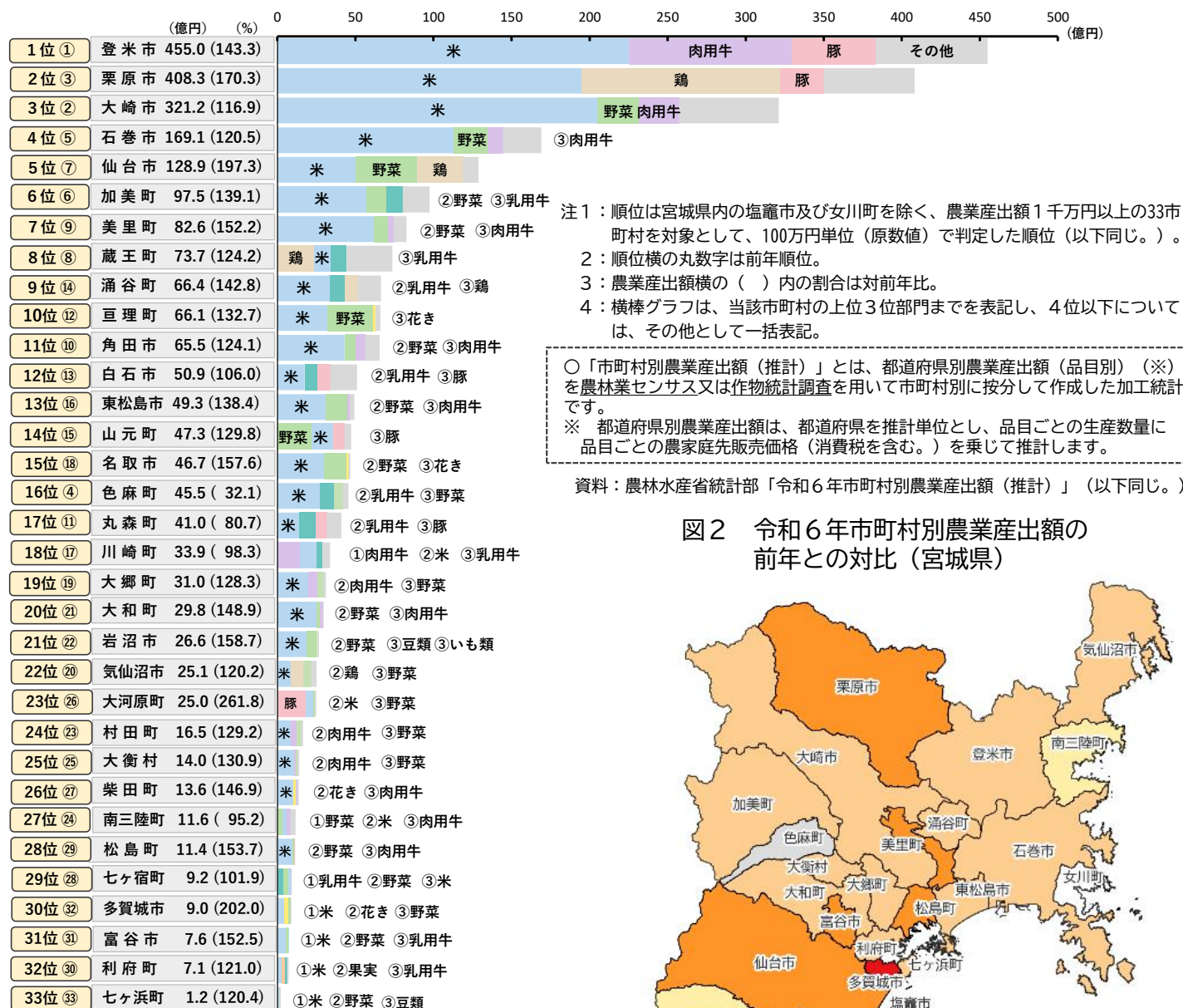
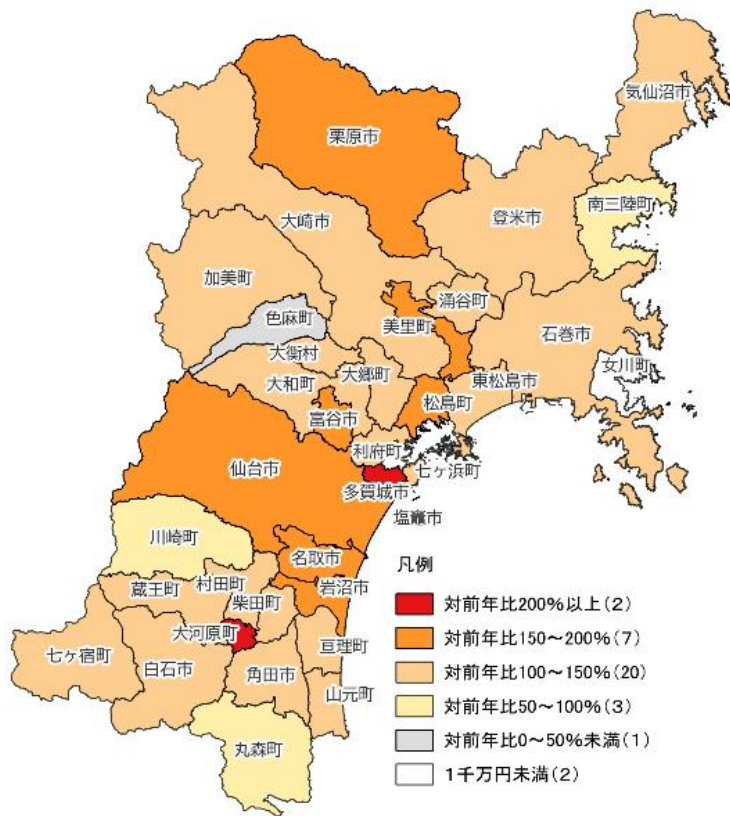


図2 令和6年市町村別農業産出額の
前年との対比（宮城県）



注：凡例の（ ）内数値は、市町村数である（以下同じ）。



29市町村で前年より農業産出額が増加

令和6年市町村別農業産出額が前年に比べて増加した市町村は29市町村となりました。

増加した主な要因は、米の生産量の増加や価格の上昇等となっています（図2）。



令和6年市町村別農業産出額の1位部門（宮城県）

ー 県内35市町村のうち27市町村で米部門が1位 ー

宮城県内35市町村の令和6年市町村別農業産出額の1位部門については、米が27市町村となっており、野菜が2町、乳用牛、肉用牛、豚及び鶏がそれぞれ1町となっています（図3）。

なお、塩竈市及び女川町については、農業産出額が1千万円未満となっています。



主要部門別の上位10市町村の農業産出額と県内占有率（宮城県）

米

北部地域の登米市（全国4位）、大崎市（同7位）及び栗原市（同10位）が3位まで独占し、この3市で県内の米産出額の約5割を占めています（図4）。

図4 米部門市町村別農業産出額（宮城県）

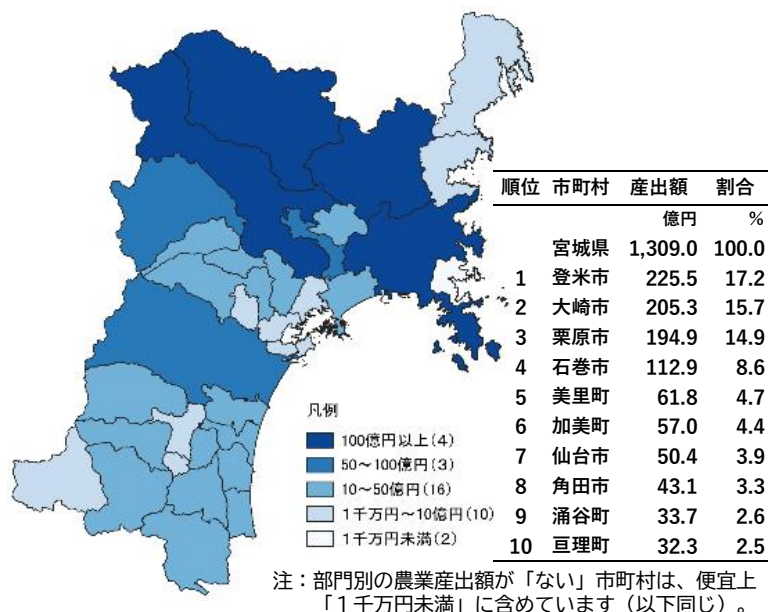
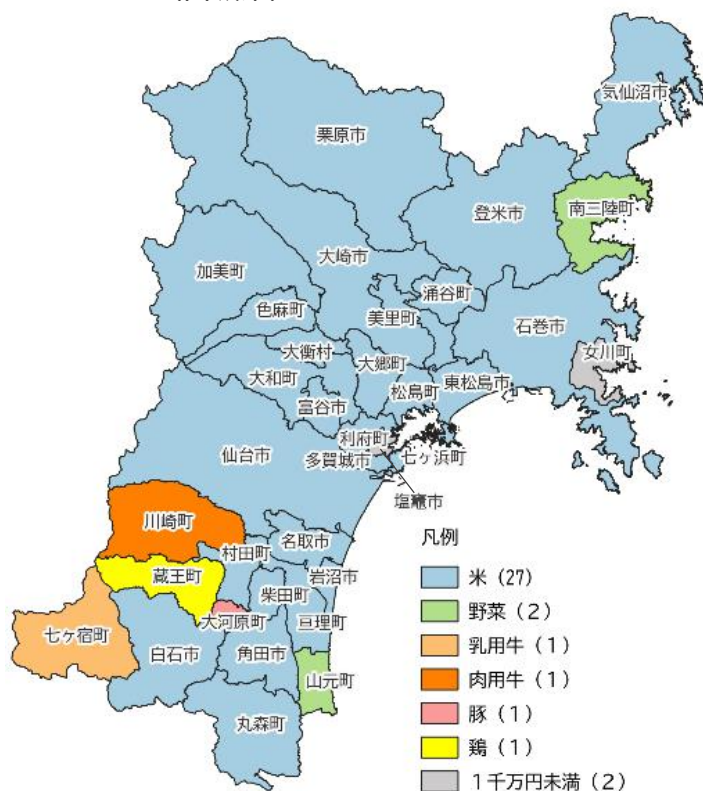


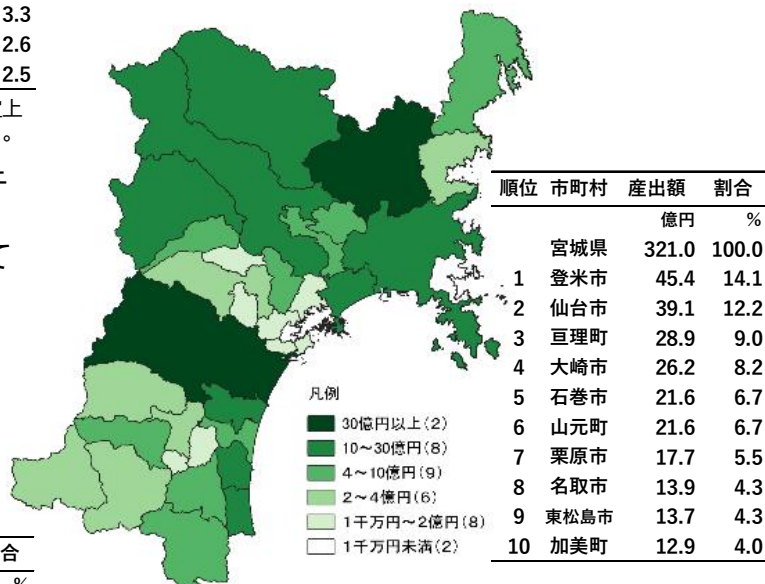
図3 令和6年市町村別農業産出額の1位部門（宮城県）



野菜

登米市が1位で、次いで仙台市、亶理町（いちご全国9位）、大崎市、石巻市の順となっており、この5市町で県内の野菜産出額の5割を占めています（図5）。

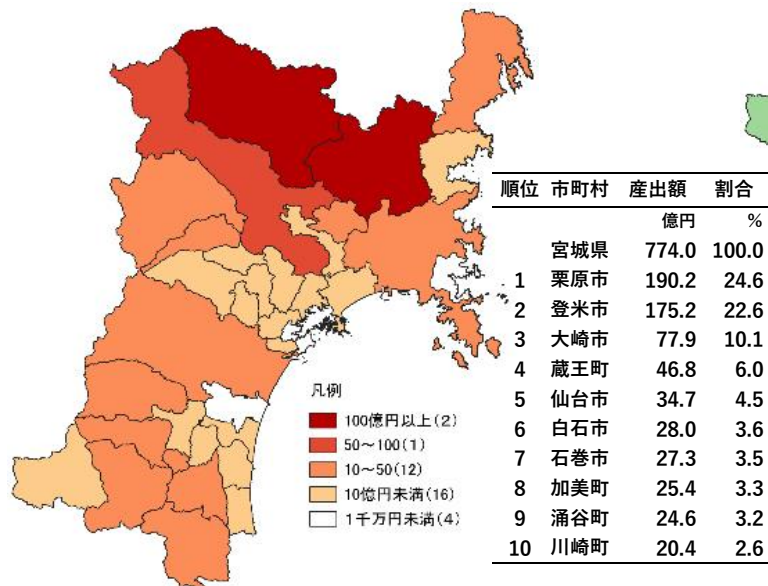
図5 野菜部門市町村別農業産出額（宮城県）



畜産

鶏卵全国5位の栗原市が1位で、肉用牛全国6位の登米市が2位となっており、この2市で県内の畜産産出額の約5割を占めています（図6）。

図6 畜産部門市町村別農業産出額（宮城県）



宮城県拠点の
Webサイトは
こちら →



-お問合せ-

東北農政局 宮城県拠点 分析担当
電話：022-221-6404